

◇◇ 一般公開 “土木の日” ◇◇

—「土木の日2010」開催報告—

国総研旭庁舎では、独立行政法人土木研究所と協力して、11月6日（土）に実験施設等の一般公開を行いました。今年は天候に恵まれ、子どもたちを中心に一般市民の方、職員のご家族など782名の方々に来所いただきました。

今回のイベントでは、来所者の皆様に、広く土木事業や研究所の仕事を理解していただくために、以下のコンテスト、実験施設の見学や体験コーナーを実施いたしました。

◇ボール紙でつくる橋コンテスト

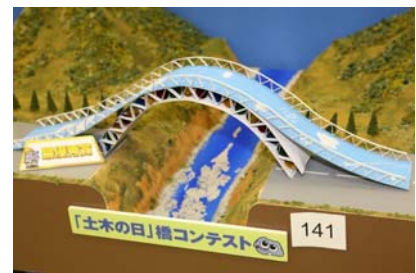
橋コンテストは子どもたちにもものづくりの楽しさを体験してもらうために毎年行っており、今回が17回目になります。対象はつくば市内の小学五年生で、今回は23校から363名、305作品の参加がありました。事前に美術専門家、教育関係者、橋梁専門家による審査会を開き、当日は最優秀賞3作品、美術デザイン賞5作品、構造デザイン賞5作品、努力賞5作品の計18作品を表彰しました。



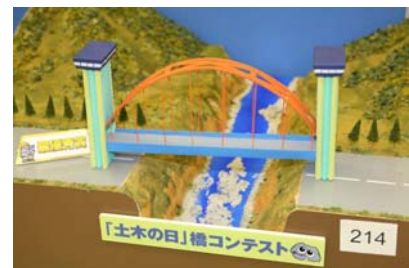
受賞者のみなさん



応募作品の展示



スカイブリッジ



夢のかけ橋



フラワーブリッジ

最優秀賞3作品

◇実験施設公開、展示



【試験走路】

一周約6kmの試験走路をバスで走行しながら、走路内にある様々な道路関連の実験施設を紹介しました。普段は体験できないバンク部の走行や見学に、大きな歓声があがっていました。



【舗装走行実験場】

舗装走行実験場では、人工衛星を利用して無人で走る荷重車や、各種舗装について紹介し、その後実際の走行の様子について見学してもらいました。



【ダム水理実験施設】

土粒子の大きさによって水中を沈降する速度がどのように異なるか実験を行いました。また、施設内の2階にある渡り廊下より、実際に水の流れているダムの模型を見学していただきました。



【土石流発生装置】

土石流発生装置（山の斜面の模型）を用いて、砂防施設の有無による土石流の家屋被害の違いを見てもらい、土石流の特徴や対策施設の効果、土砂災害の恐ろしさ等について知ってもらいました。



【橋の撤去部材展示】

実際に使用されていた橋梁の撤去部材（損傷部材）を間近で見て触れ、非破壊検査なども体験することで、維持管理の必要性について体験学習してもらいました。



【はたらく自動車の展示】

関東地方整備局にご協力いただき、働く自動車の展示と、関東地方整備局が取り組んでいる事業の紹介を行いました。

◇土木体験教室



【水がきれいになる仕組みを知ろう！】

家庭から排出された水が流れる大切な下水管が壊れていないかをテレビカメラで調べる様子や、下水がきれいになる仕組みをパックテストや顕微鏡を使って体験してもらいました。



【景観シミュレーション】

景観シミュレータを使って、道路を通したり、橋を架けたり、住宅や公園を作ったり…、来場者の皆さんに思い思いの街を作ってもらいながら、実際の街がどのように作られていくのか、どうしたら住みよい街ができるのか、考え、体感頂きました。



【あっ！と驚くコンクリートおもしろ話し】

コンクリートとはどのようなものなのか、その材料は、その便利さはなどなど、実際にコンクリートの置物を作りながら楽しく勉強してもらいました。



【マイクロモデルによるトンボロの形成】

波を起こせる水槽に砂浜をつくり、消波ブロックを設置しました。それを離岸堤に見立てて波を当て、波の力で離岸堤の背後に砂が堆積する様子を見てもらいました。



【消波ブロック型アロマキャンドルの製作】

消波ブロックの型枠に溶かしたロウを流してアロマキャンドルを作りました。

◇関連イベント



職員による、和太鼓演奏、バンド演奏
バイオリンとビオラの共演が土木の日を
盛り上げてくれました。

